



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 第一稀元素化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 4082 URL <https://www.dkkk.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 國部 洋
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 敬一 (TEL) 06-6206-3311
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	17,559	3.9	1,437	△58.2	2,819	△46.2	1,530	△55.8
2023年3月期第2四半期	16,900	14.5	3,440	64.3	5,244	79.2	3,462	57.0

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,525百万円(△61.5%) 2023年3月期第2四半期 3,963百万円(61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	62.91	—
2023年3月期第2四半期	142.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	69,358	37,258	52.9
2023年3月期	66,004	36,151	53.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 36,681百万円 2023年3月期 35,522百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	18.00	—	16.00	34.00
2024年3月期	—	12.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	3.5	3,100	△42.5	3,500	△41.4	2,000	△50.3	82.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期2Q	24,400,000株	2023年3月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	51,887株	2023年3月期	83,180株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期2Q	24,325,747株	2023年3月期2Q	24,298,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	2024年		2023年		前年 同期比	2024年	
	3月期 2Q累計	売上高 比率	3月期 2Q累計	売上高 比率		3月期 通期予想	進捗率
売上高 (百万円)	17,559	100.0%	16,900	100.0%	3.9% ↗	40,000	43.9%
売上総利益 (百万円)	4,188	23.9%	5,923	35.1%	-29.3% ↘	9,500	44.1%
営業利益 (百万円)	1,437	8.2%	3,440	20.4%	-58.2% ↘	3,000	47.9%
経常利益 (百万円)	2,819	16.1%	5,244	31.0%	-46.2% ↘	2,700	104.4%
親会社株主帰属純利益 (百万円)	1,530	8.7%	3,462	20.5%	-55.8% ↘	1,750	87.5%
償却前営業利益 (百万円)	2,695	15.4%	4,728	28.0%	-43.0% ↘	6,200	43.5%

※進捗率は、2023年5月12日公表の連結業績予想と比較しております。

当第2四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）における世界経済は、製造業では、自動車関連で供給制約が解消に向かった一方で、巣ごもり需要の終息などにより通信デバイスや家電などの需要低迷が顕在化しました。また、OECD諸国の設備投資動向を示す実質総固定資本形成は停滞していることに加え、多くの国・地域で鉄鋼製品やデジタル関連を中心に貿易の鈍化が見られました。一方、サービス業では、旅行をはじめとする活動制約の緩和がリバウンド需要を後押ししました。資源高は一服したものの、労働市場のひっ迫に伴う賃金上昇を背景にインフレ率は依然高い水準が続いています。

当社グループの主要顧客である自動車産業におきましては、半導体をはじめとする部品不足に伴う供給制約が解消に向かったことに加え、中国における新エネルギー車を対象とする税優遇措置の影響を受けて、2023年の世界ライトビークルの累計販売台数は、前年同期比で10.2%増加しました。しかしながら、内燃機関搭載車は微増に留まりました。

当社グループは、半導体、エネルギー、ヘルスケア分野で順調に売上高を伸ばしたものの、通信デバイス、家電などの需要低迷により、エレクトロニクス分野の売上高が前年同期を下回り、全体としては微増となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は17,559百万円（前年同期比3.9%増、業績予想40,000百万円に対して進捗率43.9%）、販売数量が前年同期比で0.6%増となりました。営業利益は、前期に享受した在庫販売効果の剥落等により1,437百万円（前年同期比58.2%減、業績予想3,000百万円に対して進捗率47.9%）、経常利益は、外貨建資産の為替差益等により2,819百万円（前年同期比46.2%減、業績予想2,700百万円に対して進捗率104.4%）、親会社株主に帰属する四半期純利益はベトナム子会社の旧工場の減損損失（当第2四半期連結累計期間において特別損失に計上）により1,530百万円（前年同期比55.8%減、業績予想1,750百万円に対して進捗率87.5%）となりました。

分野別の販売状況は、次のとおりです。

	2024年 3月期 2Q累計		2023年 3月期 2Q累計		前年 同期比	2024年 3月期 通期予想	
		構成比		構成比			進捗率
戦略分野 (百万円)	2,737	15.6%	2,486	14.7%	10.1% ↗	7,500	36.5%
半導体・エレクトロニクス (百万円)	721	4.1%	791	4.7%	-8.9% ↘	2,000	36.1%
エネルギー (百万円)	1,259	7.2%	1,109	6.6%	13.5% ↗	3,800	33.1%
ヘルスケア (百万円)	756	4.3%	583	3.5%	29.7% ↗	1,500	50.5%
自動車排ガス浄化触媒分野 (百万円)	11,373	64.8%	11,126	65.8%	2.2% ↗	25,100	45.3%
基盤分野 (百万円)	3,448	19.6%	3,287	19.5%	4.9% ↗	7,400	46.6%
合計 (百万円)	17,559	100.0%	16,900	100.0%	3.9% ↗	40,000	43.9%

・戦略分野（半導体・エレクトロニクス）

半導体用途は、販売数量は前年同期に届かなかったものの、新しい用途への拡販が進み、増収となりました。エレクトロニクス用途は、通信デバイス、家電など最終製品の需要低迷に伴い、販売数量で前年同期を下回りました。

これらの結果、半導体・エレクトロニクス分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は、721百万円（前年同期比8.9%減、業績予想2,000百万円に対する進捗率36.1%）となりました。

・戦略分野（エネルギー）

二次電池用途は、電動車の増加による需要増に伴って販売数量を伸ばし、前年同期比で増収となりました。SOFC（固体酸化物形燃料電池）及びSOEC（固体酸化物形電解装置）用途は、市場成長に伴って販売数量を伸ばし、前年同期比で増収となりました。水素関連は、着実に伸ばしました。

これらの結果、エネルギー分野の当第2四半期連結累計期間の売上高は1,259百万円（前年同期比13.5%増、業績予想3,800百万円に対する進捗率33.1%）となりました。

・戦略分野（ヘルスケア）

生体材料、医療機器、及び抗菌剤・環境の全ての用途で販売数量が前年同期を上回り、大幅増収となりました。

これらの結果、ヘルスケア分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は、756百万円（前年同期比29.7%増、業績予想1,500百万円に対する進捗率50.5%）となりました。

・自動車排ガス浄化触媒分野

自動車触媒及び酸素センサーは、引き続き内燃機関車が主流となるグローバルサウス市場において旺盛な需要を取り込んだものの、中国を中心に、電動化に伴う需要減の影響を受け、販売数量は前年同期で微増にとどまりました。

これらの結果、自動車排ガス浄化触媒分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は、11,373百万円（前年同期比2.2%増、業績予想25,100百万円に対する進捗率45.3%）となりました。

・基盤分野

耐火物用途は、主要な需要家である国内の鉄鋼業界の低調により販売数量が前年同期を下回りました。構造部材用途は、堅調に推移しました。ブレーキ用途は、自動車の電動化に伴う仕様変更などの影響を受けました。

一方で、ブレイジング（アルミ配管ろう付け）用途は、自動車向けで引き続き内燃機関車が主流となるグローバルサウス市場において旺盛な需要を取り込んだことに加え、家電向けではアルミニウム製熱交換器を搭載したルームエアコンの普及が進み、販売数量を大幅に伸ばしました。

これらの結果、基盤分野における当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,448百万円（前年同期比4.9%増、業績予想7,400百万円に対する進捗率46.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は69,358百万円で、前連結会計年度末に比べ3,353百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の増加(2,522百万円)、流動資産のその他(743百万円)、受取手形及び売掛金の増加(658百万円)によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における負債は32,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,245百万円増加しました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)の増加(2,770百万円)によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は37,258百万円で、前連結会計年度末に比べ1,107百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加(1,141百万円)によるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は前連結会計年度末53.8%から52.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが3,281百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが2,308百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが282百万円の収入となり、これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、前連結会計年度末に比べ38百万円減少し、10,008百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、得られた資金は3,281百万円(前年同期は997百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,468百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、使用した資金は2,308百万円(前年同期は1,841百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,785百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、得られた資金は282百万円(前年同期は3,695百万円の収入)となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,785百万円、長期借入金の返済による支出1,655百万円、短期借入金の純増減額の減少1,400百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきまして、販売数量は、主要顧客である自動車産業において、部品不足に伴う供給制約の解消等により世界のライトビークル販売台数は回復傾向にある一方で、中国を中心に電動化率の上昇等の影響を受けて、当初計画を下回る見通しです。また原料価格低下に伴う販売価格の下落もあり、売上高は2023年5月12日公表の通期連結業績予想を下回る見込みです。利益は、第3四半期連結会計期間以降においては、物流コストの低下等の費用減少がある一方で、販売数量は当初計画を下回る見込みであるため、当初計画に比べると減少する見込みであります。それらを踏まえて、2024年3月期通期の連結業績予想を2023年10月31日に修正、公表しております。2023年10月31日に公表しました業績予想から変更はしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,750	10,161
受取手形及び売掛金	6,623	7,282
製品	6,380	6,032
仕掛品	2,434	3,076
原材料及び貯蔵品	5,625	5,225
その他	2,173	2,916
流動資産合計	33,987	34,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,840	8,326
機械装置及び運搬具（純額）	4,932	3,864
土地	2,233	2,233
建設仮勘定	13,721	14,607
その他（純額）	584	801
有形固定資産合計	27,311	29,834
無形固定資産	1,280	1,277
投資その他の資産		
その他	6,363	6,843
貸倒引当金	△2,938	△3,291
投資その他の資産合計	3,424	3,551
固定資産合計	32,016	34,663
資産合計	66,004	69,358
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	977	1,034
短期借入金	2,400	1,153
1年内返済予定の長期借入金	3,589	4,913
未払法人税等	1,104	936
賞与引当金	388	396
役員賞与引当金	96	-
その他	1,480	1,906
流動負債合計	10,036	10,340
固定負債		
長期借入金	19,240	20,686
退職給付に係る負債	2	3
その他	573	1,068
固定負債合計	19,816	21,758
負債合計	29,853	32,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	787	787
資本剰余金	1,175	1,194
利益剰余金	32,442	33,583
自己株式	△30	△18
株主資本合計	34,374	35,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332	419
為替換算調整勘定	680	594
退職給付に係る調整累計額	134	120
その他の包括利益累計額合計	1,147	1,135
非支配株主持分	629	576
純資産合計	36,151	37,258
負債純資産合計	66,004	69,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	16,900	17,559
売上原価	10,976	13,370
売上総利益	5,923	4,188
販売費及び一般管理費	2,483	2,751
営業利益	3,440	1,437
営業外収益		
受取利息	22	70
受取配当金	13	16
持分法による投資利益	31	40
為替差益	3,010	2,249
助成金収入	10	2
その他	24	97
営業外収益合計	3,112	2,476
営業外費用		
支払利息	116	251
デリバティブ評価損	444	470
貸倒引当金繰入額	738	353
その他	9	19
営業外費用合計	1,308	1,095
経常利益	5,244	2,819
特別損失		
減損損失	-	341
固定資産除却損	0	8
特別損失合計	0	350
税金等調整前四半期純利益	5,243	2,468
法人税、住民税及び事業税	1,883	892
法人税等調整額	△120	44
法人税等合計	1,762	936
四半期純利益	3,480	1,532
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,462	1,530

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,480	1,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22	87
為替換算調整勘定	458	△107
退職給付に係る調整額	△14	△13
持分法適用会社に対する持分相当額	60	26
その他の包括利益合計	482	△7
四半期包括利益	3,963	1,525
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,931	1,518
非支配株主に係る四半期包括利益	31	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,243	2,468
減価償却費	1,288	1,258
減損損失	-	341
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	8
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	738	353
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18	△15
受取利息及び受取配当金	△35	△86
支払利息	116	251
デリバティブ評価損益 (△は益)	444	470
為替差損益 (△は益)	△489	132
持分法による投資損益 (△は益)	△31	△40
売上債権の増減額 (△は増加)	△363	△320
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,395	403
未払又は未収消費税等の増減額	△64	△402
仕入債務の増減額 (△は減少)	△992	△224
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△245	△158
その他	122	51
小計	2,327	4,493
利息及び配当金の受取額	33	86
利息の支払額	△121	△251
法人税等の支払額	△1,242	△1,046
営業活動によるキャッシュ・フロー	997	3,281
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△23	-
定期預金の払戻による収入	560	716
有形固定資産の取得による支出	△2,029	△2,785
無形固定資産の取得による支出	△32	△197
長期前払費用の取得による支出	△16	△46
投資有価証券の取得による支出	△46	△6
長期貸付けによる支出	△259	△1
長期貸付金の回収による収入	87	40
補助金の受取額	114	-
その他	△194	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,841	△2,308
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△1,400
長期借入れによる収入	5,793	3,785
長期借入金の返済による支出	△1,620	△1,655
配当金の支払額	△239	△388
非支配株主への配当金の支払額	△37	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,695	282
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,100	△1,293
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,750	△38
現金及び現金同等物の期首残高	8,333	10,047
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,084	10,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。